



平成22年10月7日

各 位

会 社 名 山陽電気鉄道株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 上 門 一 裕
コ ー ド 番 号 9 0 5 2
上 場 取 引 所 大証第1部
問 合 せ 先 取締役総務本部マネージャー 荒 木 素 直
(TEL 078-612-2032)

当社子会社（株式会社山陽百貨店）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社山陽百貨店（代表取締役社長：高野 勝）が平成22年4月16日に公表した平成23年2月期（平成22年3月1日～平成23年2月28日）の第2四半期累計期間および通期の業績予想（連結・単体）について、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上

各位

上場会社名 株式会社 山陽百貨店
 代表者 代表取締役社長 高野 勝
 (コード番号 8257)
 問合せ先責任者 取締役経営企画統括ゼネラルマネジャー 岩野 誠
 (TEL 079-223-1231)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成23年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,630	19	16	11	14.11
今回発表予想(B)	10,026	91	82	34	42.45
増減額(B-A)	396	72	65	22	
増減率(%)	4.1	363.3	394.4	200.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	10,143	55	21	21	26.96

平成23年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,565	92	59	33	41.62
今回発表予想(B)	20,133	164	125	43	54.25
増減額(B-A)	567	72	65	10	
増減率(%)	2.9	78.2	110.2	30.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	20,781	219	175	136	169.39

平成23年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,605	22	10	5	7.33
今回発表予想(B)	10,006	96	81	34	42.65
増減額(B-A)	400	73	70	28	
増減率(%)	4.2	321.2	651.8	481.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	10,116	47	4	8	11.14

平成23年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,516	101	52	27	34.66
今回発表予想(B)	20,084	173	118	38	47.29
増減額(B-A)	567	72	65	10	
増減率(%)	2.9	71.1	124.4	36.4	
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	20,731	224	163	125	156.59

修正の理由

(第2四半期累計期間)

当第2四半期累計期間における百貨店業界は、全国百貨店の売上高が30ヶ月連続前年割れとなり、厳しい状況が続いております。このような状況の中、当社はお客さまのご来店頻度を高めるため週替わりの数多くのイベントの実施や、デイリー性の高い食料品や雑貨の一部リニューアルを行いました。

これらの結果により、月別売上高の前年比は7月が0.3%の減少、8月が4.9%の増加と回復し、第2四半期累計期間の売上高はわずかながら前年同期に届かなかったものの、前回予想を400百万円上回る見込みです。

また、経費面におきましては販売費及び一般管理費内の各経費の削減に徹底して努めた結果、前回予想と比べ22百万円の削減が上積みできました。

以上により、営業利益は前回予想と比べ73百万円増加、経常利益は70百万円増加する見込みです。なお、四半期純利益につきましては、税金費用が大幅に増加するため28百万円の増加にとどまる見込みです。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正に伴い、修正いたします。

(通期)

下半期につきましては、景気の先行き不透明感から顧客の低価格・節約志向がさらに強まり、百貨店には厳しい環境が予想されるため、売上高は前年比5.0%の減少と予想しました。一方、経費面では、この売上高の減少を前提に、引き続き各経費の削減に取り組みます。

この結果、通期個別業績につきましては、前回予想と比べて売上高は567百万円増加の20,084百万円、営業利益は72百万円増加の173百万円、経常利益は65百万円増加の118百万円、当期純利益は10百万円増加の38百万円となる見込みです。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正及び連結子会社の動向に基づき修正いたします。

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上